

技能・技術功労士

伝統を伝えながら
常にその時代の新たな感性を
美しい藍で表現

久留米絣工 40年
松枝哲也工房
まつえだ てつや
松枝 哲也さん
(60歳)
重要無形文化財
久留米絣技術保持者(藍染め)

久留米絣の技法を今日まで代々伝え続ける松枝家五代目の哲也さん。国の重要無形文化財久留米絣の技術保存・向上に努め、藍染めの中でも特に難しい「中藍」という明るい色調の藍色を美しく染め出し、優美で繊細な絵絣を得意としています。「主に着物制作をしています。一反に2~3か月の時間を要しますが、常に新鮮な発見があり、感性が必要な仕事です。『良いモノ、美しいモノをつくる』という気持ちは常に持ち続けたい」と研鑽を積み、その作品は人々を魅了しています。



2014年第61回日本伝統工芸展入選
久留米絣着物「煌(きらめき)」。